

教科名	美術	科目	美術	週授業時間	1 時間
-----	----	----	----	-------	------

1. 教科書および副教材・参考書

美術2・3下（日本文教出版）

2. 授業の目標および内容

授業を通して創造活動の喜びを味わい、美術を愛好し尊重する心情を養い、表現意欲を高め、技能の向上を図ります。

凸版印刷や篆刻といった昔ながらの技法を用いた作品を、自然素材に手で触れ質感や形を確かめながら制作し、人類が自然とともに築いてきた歴史を体験活動的に学びます。

また、映像制作を通して技術の発展を学び実感するとともに、生徒同士の共同制作にすることで、より能動的な姿勢で課題に取り組みます。

1 学期では木版画の伝統的技法(凸版)を学びます。

2 学期では篆刻を通し、石彫刻の立体表現と、文字のデザインを学びます。

3 学期では鉛筆画によるアニメーション（パラパラ漫画）をグループワークで学びます。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 なし	二次 なし	一次 なし	二次 12月	期末 なし
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし

内容・難易度について

① 定期試験：無

② 学力試験：無

4. 課題・補習について

状況に応じて課題・補習がある場合があります。

5. 評価の視点

講評（言語化・文章化）や制作時間中の「言葉がけ」、また「参考」として作品を全体に紹介する等の評価活動をします。

観点別評価では、美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力をABC 3段階で学習状況が評価されます。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	版画（木版画）	<p>木版画</p> <p>下絵</p> <p>写真をもとに下絵を起こし、版木に転写します。</p> <p>製版 彫り</p> <p>各彫刻刀の彫り目を理解した上で製版工程を進めます。</p> <p>印刷 摺り</p> <p>墨と馬連による摺りを実習します。</p> <p>試し摺りを見て補刀し版を整えます。</p> <p>本摺りの後サインを入れて仕上げます。</p>	<p>用具</p> <p>彫刻刀</p> <p>バレン</p> <p>墨</p> <p>和紙</p>
2	彫刻・デザイン 篆刻	<p>自分の名前の印をデザインします。</p> <p>石材の底面に文字を刻印します。また自由な発想で印材石に彫刻し立体表現を楽しみます。</p> <p>印材の各面に鉛筆でデッサンします。</p> <p>荒彫り…細部に囚われず大まかに彫りだします。</p> <p>仕上げ…細部を彫り進め、表面を削り「磨き」をかけます。</p> <p>鑑賞</p>	<p>用具</p> <p>印材石</p> <p>彫刻刀</p> <p>篆刻刀</p> <p>やすり 等</p>
3	映像制作 鉛筆線画によるアニメーション	<p>最も原始的なアニメーションの手法である“パラパラ漫画”をグループで制作します。最後には全クラス分の作品を鑑賞し、クラス間を越えた鑑賞の授業を行います。</p>	<p>用具</p> <p>筆記用具</p> <p>ブロックメモ</p> <p>カメラ</p> <p>PC</p> <p>プロジェクター 又はモニター</p>